

樽谷庄道議員による「議員報酬費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定の件」についての反対討論及びその後の SNS 記事に対する公開質問状の回答に対するコメント

貝塚市議会議員

南野 敬介 阪口 勇 小谷 真章 堺谷 裕
前園 隆博 谷口美保子 田畑 庄司 出原 秀昭
食野 雅由 阪口 芳弘 川岸 貞利

反対討論について

- ① 「答申に対して、私は反対する立場をとらせていただきます。今回の答申がその目的に沿っていないと考えるからです」と討論されています。「その目的に沿っていない」とは何ですか？樽谷議員及び会派としての見解をお答えいただきたい。

(維新の会貝塚市議会議員団)

答申の目的は、貝塚市特別職報酬等審議会規則第3条 市長は、議会の議員の議員報酬の額並びに市長及び副市長の給料の額に関する条例を議会に提出しようとするときは、あらかじめ、当該議員報酬等の額について審議会の意見を聞くものとするとあり、本答申は目的に沿っているものと考えます。

(樽谷議員)

維新の会会派回答と同じ

(回答を受けての私たちの考え)

維新の会会派の回答と同様に思っています。樽谷議員については会派の回答と同じなら、反対討論が間違っていると認め謝罪しなければならないと考えます。

- ② 「市民の声がしっかりと提供され、反映していると思いません」と意見されています。樽谷議員及び会派としての見解をお聞かせください。

(維新の会貝塚市議会議員団)

市民の声については、貝塚市特別職報酬等審議会規則第4条 審議会は、委員9人以内で組織し、その委員は、貝塚市の区域内の公共団体等の代表者その他住民（貝塚市の議会の議員、長及び常勤の職員を除く。）のうちから必要の都度市長が委嘱するとあり、委員は市民の代表であるとの認識から市民の声が反映されていると考えます。

(樽谷議員)

維新の会会派回答と同じ

(回答を受けて私たちの考え)

維新の会会派の回答と同様に思っています。樽谷議員については会派の回答と同じなら反対討論が間違っていると認め謝罪しなければならないと考えます。

また、私たちの前で「反対討論は個人の発言だ」とあらためて確認された樽谷議員が何故「維新の会議員団」としての回答となるか理解できません。

樽谷庄道議員 SNS について

3月27日付 SNS

- ① 「市民の声を反映させる昨年4月の市議選挙の折、何故か報酬アップ、ボーナスアップを訴えず、昨年末には厚生年金に加入したいと意見書を出し、多数決の結果、可決成立となりました。」とあります。一度も「アップ」を要望などしていません。この書き方では市民の皆さんに間違った情報を広めていると考えます。このことに対する樽谷議員及び会派の見解をお示してください。
- ② 「報酬増額には多様な意見、考えがありますが、議員の立場を利用して自らの報酬を引き上げる。」とあります。何時・どこで・誰が「議員の立場を利用して自らの報酬を引き上げたのか。そんな事実があるのか。この内容について樽谷議員及び会派の見解をお示してください。

また、「議員の立場を利用する」とはどのようなことなのか？樽谷議員及び会派の考えをお示してください。

3月29日 SNS では

「私の SNS (Facebook とインスタ) の発信内容について、謝罪と訂正を求められました。私の表現の自由を侵すとても残念な行為です。」とあります。今回の内容は明らかに事実と異なる事を掲載しています。その内容を削除・謝罪記事を求めたものです。改めて樽谷議員及び会派の考えをお示してください。

(維新の会員塚市議会議員団)

SNS の発信については、SNS の発信は議会外の個人の政治活動であり、発信者自身の責任において行われるべきものであるとの認識ですが、会派としては、個人の情報発信においても、市民に誤解を与えないような表現を心がけるべきであると考えていることから、令和6年4月7日に会派として樽谷庄道議員に対し本投稿については関係者・関係団体等に対し、謝罪及び訂正を行うことを求めました。

(樽谷議員)

SNS は個人の発信なので回答しません。

(回答を受けて私たちの考え)

維新の会会派へは

具体的な事例を挙げて質問しているのですからもう少し具体的にお答えをいただきましたかったです。特に議員の立場を利用して自らの報酬を引き上げたのか。そんな事実があるのか。この内容についてははっきりと答えていただきかった。しかし回答では触れられているように樽谷庄道議員に対し関係者へ謝罪及び訂正を求めていることから、我々の指摘を一程度ご理解いただいているものであると判断できます。

樽谷議員へは

なぜ回答しないのか？個人の発信であっても事実と異なることを発信したのだから反省し、訂正とお詫びが必要ではないか。

総じて・・・

樽谷議員はなぜ個人の回答を行わなかったのか。返事の中で「樽谷個人が回答するのではなく、大阪維新の会貝塚市議会議員団が回答すべきとの判断になりました。党本部、多くの関係者や有識者との協議をした判断です。」とあります。樽谷議員の SNS にも「また、確認の意味でお伝えしておきたいのですが、反対討論は、私個人の意見を理由も示し、確りと述べました。制度上、維新の会貝塚市議団を代表して行ったものではありません。」とありますし、わざわざ我々の前で同様の発言を言いきった樽谷議員が何故個人の回答を行わないのか理解できません。